



An impress Group Company

報道各位

2024年9月5日
株式会社インプレス

ネットゼロ・電力システム・電力市場・蓄電池・FIT・ゾーニングなどについて深掘りする

『再生可能エネルギー技術政策論 日本特有の問題点の整理と課題・解決法』発行

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:高橋隆志)は、『再生可能エネルギー技術政策論 日本特有の問題点の整理と課題・解決法』(著者:安田 陽)をインプレス NextPublishingより発行いたします。

『再生可能エネルギー技術政策論』

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784295603382>



著者:安田 陽

小売希望価格:電子書籍版 1,900円(税別)／印刷書籍版 2,400円(税別)

電子書籍版フォーマット:EPUB3

印刷書籍版仕様:A5／カラー／本文276ページ

ISBN:978-4-295-60338-2

発行:インプレス NextPublishing

<<発行主旨・内容紹介>>

地球温暖化・気候変動抑制のための温室効果ガス削減の流れ、福島原発事故がきっかけとなった欧州での原発削減、太陽光発電・風力発電の急激なコスト低下などにより、再生可能エネルギーの普及が進んでいます。これと歩調を合わすように、柔軟性の高い電力システムや電力市場の導入も進んでいます。

しかし欧米とは異なり日本では、誤った日本独特の常識・制限環境が、これらの普及を妨げています。

この本は、著者が世界と日本の再生可能エネルギーや電力システムなどの技術およびそれに関連する技術政策の動向、問題点などを論じた10本の論考を収録したものです。この分野の一人者である著者の見識・論点は、他にはない鋭いもので、この分野に興味を持つ読者にとって貴重な情報となります。

(インプレス NextPublishing は、株式会社インプレスR&Dが開発したデジタルファースト型の出版モデルを承継し、幅広い出版企画を電子書籍＋オンデマンドによりスピーディで持続可能な形で実現しています。)

<<目次>>

- 第1章 系統連系問題の神話の解体
- 第2章 電力系統は誰がどのように計画をするのか？
- 第3章 グッドな地産地消とバッドな地産地消
- 第4章 風力発電が社会にもたらす便益
- 第5章 脱炭素の国際動向
- 第6章 脱炭素に向けたエネルギー貯蔵の役割
- 第7章 再生可能エネルギー大量導入による慣性問題
- 第8章 FIT制度導入後の風力発電と電力システムの現状と課題
- 第9章 洋上風力発電の系統連系とコスト
- 第10章 再生可能エネルギー超大量導入を実現する系統柔軟性

<<著者紹介>>

ストラスカライド大学 工学部電気電子工学科 アカデミックビジター／九州大学 洋上風力研究教育センター 客員教授／特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(IEEP) 主任研究員。

1989年3月、横浜国立大学工学部卒業。1994年3月、同大学大学院博士課程後期課程修了。博士(工学)。同年4月、関西大学工学部(現システム理工学部)助手。専任講師、助教授、准教授、2016年9月、京都大学大学院 経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座 特任教授、2024年5月より、英国ストラスカライド大学アカデミックビジター。九州大学 客員教授／環境エネルギー政策研究所(IEEP) 主任研究員。

現在の専門分野は風力発電の耐雷設計および系統連系問題。技術的問題だけでなく経済や政策を含めた学際的なアプローチによる問題解決を目指している。現在、日本風力エネルギー学会理事。IEA Wind Task25 (風力発電大量導入) エキスパートメンバー、IEC/TC88/MT24(風車耐雷)委員長など各種国際委員会メンバー。

主な著作として、「世界の再生可能エネルギーと電力システム 電力市場編」「世界の再生可能エネルギーと電力システム 系統連系編」、「世界の再生可能エネルギーと電力システム 経済・政策編」、「世界の再生可能エネルギーと電力システム 電力システム編」、「世界の再生可能エネルギーと電力システム 風力発電編 第2版」、「世界の再生可能エネルギーと電力システム 全集」、「送電線は行列のできるガラガラのそば屋さん?」、「再生可能エネルギーのメンテナンスとリスクマネジメント」(インプレスR&D)、「日本の知らない風力発電の実力」(オーム社)、翻訳書(共訳)として「再生可能エネルギーと固定価格買取制度(FIT) グリーン経済への架け橋」(京都大学学術出版会)、「洋上風力発電」(鹿島出版会)、「風力発電導入のための電力系統工学」(オーム社)など。

<<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindleストア、楽天koboイーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計8,000万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「ImpressWatchシリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向けIT関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証スタンダード市場9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【NextPublishing】

NextPublishingは、インプレスR&Dが開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス : NextPublishing推進室

E-mail: np-info@impress.co.jp